

令和 7 年 11 月 5 日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

年末年始ご法要等のご案内

年の瀬も近く、急に肌寒くなってまいりました。皆様には何かとご多用の毎日かと拝察申し上げます。

さて、年末年始のご法要が下記の通り勤修されますので、皆様お誘い合わせの上、ご参詣くださいます様ご案内申し上げますとともに、無事に越年・新年をお迎え下さいませ。

記

1. 除夜会 12 月 31 日（水） 午後 8 時から

今年も如来さまに見守られて一年を過ごさせて頂きました。大晦日に感謝のお参りをしましょう。

2. 元旦会 1 月 1 日（木） 午前 7 時から

令和 8 年も如来さまのお慈悲で育てられることへの感謝とご挨拶をし、門信徒一同に会して新年のご挨拶をいたしましょう。寒い中に、朝陽が心地よい法要です。是非、ご参拝ください。

3. ご文章・お鏡開き 1 月 4 日（日） 午後 2 時から

蓮如上人のご文章を拝読・拝聴し、お供えの鏡餅を参拝者みんなで一緒に頂きます。是非、ご参拝ください。

4. ご正忌報恩講 1 月 17 日（土） 午後 1 時から

宗祖親鸞聖人のご遺徳に報恩する法要です。
法話の講師は住職が勤めます。

☆ “月のことば”を配布します。

☆ 12 月 29 日（月）午後 1 時 30 分から、鏡餅などの“餅つき”を皆様と行います。お誘い併せの上、ふるってご参加ください。

☆ 願成閣・第二願成閣の掃除を 12 月 21 日（日）午前 9 時 30 分から行います。

☆ 1 月 17 日は、法要前の掃除・準備を当日朝 8 時より行います。お手伝い頂ける方は よろしく願います。お聴聞させて頂くみなでご法要を作りましょう。

☆ 春の永代経法要は、2 月 21 日（土）講師に祁答院組 本龍寺 岡野 龍信師を迎え勤修致します。

<伝道>

私たちの人生には、必ず何かあるのです。「拝んだら災難がなくなりますよ」、「祈ったら災いがなくなりますよ」、「希望の学校へ入れます」、「病気も治ります」、「何もかも願いが叶います」と、そういうことをいう宗教が、日本にはたくさんあります。それは宗教というよりも、詐欺に近いものです。

また、私たちの欲望がそのまま満たされたら、世の中はどうなるでしょうか。決していいようにはならないと思います。私はどうなっても、他の人が幸せになってくださったらいという根性の人間ばかりが、お願いするのならよくなるでしょう。しかし、私たちは、ふだんどれほどきれいなことを、立派なことを言っている、いざとなったら自分が一番なのです。一番可愛いのは自分ですから、他人はどうなっても、私さえよかったらいいということになります。口では言いません。言わないけれども、そういう根性です。



私たちの人生は、どれほど祈り拝んでいても、いろいろな問題が次々に起こってくるわけです。そんな中で私たちは、常に自分を見失って、人生をわけのわからないものにしています。人生が順調に行くと、やはり自分に力があり、自分に実力がおるから、自分がえらいからと、自分を誇るあまりに、自分を見失うのです。

人間というのは、いいことはみんな自分の手柄にし、悪いことはみんな他の人のせいにするのです。

「教は鏡」という言葉があります。「教えというのは鏡だ」という意味です。何を映す鏡かということ、顔や姿を映す鏡はたくさんありますが、教えの鏡は、わが「いのち」、わが心、本当の自分がどうなっているかを映す鏡なのです。

「いつでも」「どこでも」「誰にでも」同じ。そういう、誰であっても変わらない、どこでも同じことを言う。時代が変わろうと、若い時も、老いた時も、いつでも同じことを言う。そういう人が「まこと」のある人なのです。私たちには、このように絶対に変わらないものがありますか。そのようなものは私の中に何ひとつありません。

「変わらないということ」と、「常に相手の身になること」、この二つの条件を満たすものを、「まこと」と言うのです。そういうものを持って人や教えに接していく、一生を貫くことができれば素晴らしいことです。

ばんのうぐそく ばんぶ かたくむじょう よろず
煩悩具足の凡夫、火宅無常の世界は、万の事皆もってそらごと たわごと

まこと
真実あることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします (歎異抄後序)

現代語訳：火宅のような不安な世界に住む、煩悩にまみれた人間の総ては、そらごと、たわごとであり、まことは一つもない。ただ弥陀の本願念仏のみがまことなのだ